

当麻の風景

6月といえば梅雨を連想しますが、上旬はまだまだカラッと晴れる日が続いてとてもさわやかで過ごしやすい時期です。

校内の木々は、春の華やかな彩が終わり、葉を繁らせたグリーンの時期となりました。

そのような中、ビワは今を盛りと実が熟し、甘い香りを漂わせています。アジサイは花(がく)を太らせ、うっすらと色づき始めています。前庭の住宅地側に植栽されているサンゴ樹は、地味な存在ですが、そのうちの1本にきくらげが自生しているのをご存知でしょうか。これからの梅雨の時期に盛んに発生してくるので、ぜひ一度探してみてください。

6月の風景より

ビワ



11月に白い小さな花を咲かせ、6ヶ月という長い期間をかけてじっくりと実を結びました。

野鳥がたずねてきては実を口にくわえて大それたに運んでいきます。

あじさい



これからが満開をむかえるアジサイは、小学部が学習するC棟の前庭に校舎を囲むように植栽されています。普段あまり足を運ばない場所かと思いますが、是非お立ち寄りください。

きくらげ(サンゴ樹)



少々、立ち枯れ気味のサンゴ樹に発生しているきくらげです。漢字で書くと「木耳」。

なるほど、耳の形に似ていますね。

写真は乾燥したものです。採取して水に戻すとよく目にする食材のきくらげとなります。

これから雨が多くなり、きくらげが発生しやすい条件がそろいますので、発生している木を発見して確認してみてください。